

例会報告

第2425回例会報告議事録

日時 28年4月12日(火曜日)

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「我らの生業」

ビジター：なし

ゲスト：十文字貴信様(日本競輪選手会)

S.A.A.:高島会員

会長挨拶

瀧日会長



4月5日に柏南RCの観桜例会が麗澤大学でありました。満開でライティングもされていて素晴らしい会でした。ワインも日本酒も飲み、食事もおいしかったです。参加クラブの紹介の時、我孫子クラブは私1人でちょっと残念でした。私の息子と同年代の、柏クラブの中山さんが、息子としてだまってられません、と出てきてくれて、「今度我孫子ロータリークラブ50周年記念式典があります。皆さんで参加して盛り上げましょう」と応援演説をしてくれて非常に嬉しかったです。嬉しいこととグチを交えてお話ししました。

皆さんに寄付をしていただいた流山高等学園のチーバ君のTシャツを贈呈する式典に今日の3時から私と村越会員と依田会員の3人で出席してきます。我孫子RCと流山RCの寄付金で職員まで含めて全員のTシャツが購入できて大変喜んでもらえました。

50周年式典ですが、もう目の前です。次回の例会はお休みで、今月は例会がありません。5月に入っても2回くらいしか例会がありません。50年に1回の式典ですので、ぜひ皆さんご出席をお願いします。お配りしたネクタイをお忘れなきようお願いいたします。

親睦委員会報告

木村委員長



服部会員、結婚40周年おめでとうございます。

親睦旅行は11日で出欠がメ切りですが、現在7名という惨憺たる状況ですので、また検討させていただきます。



服部会員より

結婚記念のお祝いをありがとうございました。40年になります。私は27歳、家内は23歳でした。あれから40年、というのが綾小路のギャグでありましたが、おかげさまで、私はいい家内に恵まれました。時には口喧嘩とかもするのですが、感謝の気持ちを持ちながら、どなりあっているというような感じです。また50年、60年と長く添い遂げられるように頑張りたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

次年度予定について

木村次年度幹事

今月29日に地区研修・協議会が行われます。米田会員と村越会員が車を出してくださいます。お迎えの配車予定をお配りしましたので、時間厳守でぜひよろしくお願い致します。

出席報告

渡邊委員長

21名出席(全員で24名) 出席率87.5%

50周年式典について

松本実行委員長



50周年式典まであと1ヶ月ちょっとになりました。今日は臨時の理事会が行われました。

最終の予算書ができました。この結果でまた理事会を通した上でお願いがございます。

50周年の積立金が403万円あります。式典登録料37万円、10分区のクラブの会員の28万円、姉妹クラブのお祝金等で収入を約533万程考えております。

支出の部は総務関係等約11万円、記念事業関係、我孫子市への寄付、米山奨学会、ロータリー財団の寄付等合わせまして、しだれ桜が大きなものとして予算を立てていますが約130万、アト

ラクション、式典、懇親会の経費が約166万、送迎のパーティー、観光視察等の姉妹クラブ関係で約134万、記念品、写真、表彰等で53万、記念誌が約100万、予備費が30万、トータル約626万です。90万以上の不足分のためにお一人当たり4万円あたりご負担いただくことに理事会で承認されました。大変申し訳ないのですが、4月末までにご負担いただければと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

50周年記念事業委員会

上村文明委員長



しだれ桜を市に寄付することが決まっています。先週月曜に購入する桜を見に行ったのですが、まだ開花しておりませんでした。ソメイヨシノが咲き終わった頃にしだれ桜が咲くそうです。花の終る頃までに購入を決めないと根切りをするのに適さない時期になってしまうそうです。幹周り50cm程度の桜です。時間のある方はぜひご参加いただければと思います。今日、例会後に佐藤会員と見に行き決めてさせていただきます。写真を撮ってきます。

十文字貴信様のご紹介

米田会員



十文字さんとは共通の友人がいて4、5年前に知り合いました。当時私が膝を悪くしており相談したところ、いい先生を紹介していただいたり、仕事でもお世話になったりしております。

20年前にアトランタオリンピックで自転車競技で銅メダルを獲られた方です。腰が狭窄症でいらっしやるので着座でお話しさせていただきます。

卓話

競輪選手 十文字貴信様



十文字貴信と申します。40歳です。今でも競輪の選手としてやっています。私のような人間にこういう機会を与えていただきありがとうございます。恐縮しております。

埼玉の八潮で育ったのですが、小学校1年生の時に野田の関宿町に越してきました。子どもの頃から運動が大好きで、小学校3年生の時にサッカー部に入ったのですが、球技のセンスはないことに子どもながらに気づき、4年生からレスリングを始めました。小学校6年の時に親戚のおじさんから運動が好きだったらレスリングより競輪選手の方が賞金を稼げるというような話を聞いたのがきっかけで競輪に興味を持ち、父親に取出競輪場に連れて行ってもらいました。すり鉢状の競輪場を60キロ以上で駆け抜ける選手がかっこいいと思い、競輪選手を目指しました。

どうしても競輪選手になりたいくて、高校は家から一番近かった取出第一高校に入学し、自転車競技部に入りました。関宿から取出までは30キロあるのですが、毎日、競輪の自転車にブレーキをつけて通学しました。

自転車競技部で高校3年間、1キロのタイムを計る種目を専門的にやりました。30キロの通学は1時間20分程度だったのですが、朝4時前に出発して練習に行かなければならなかったのも、真冬の寒さがつらかったのを覚えています。

3年生の秋に競輪学校の試験に何とか合格し、競輪学校に1年間通いました。競輪選手としてデビューする時に、取出に住んでいらっしやる当時52歳だった川村さんという師匠に巡り会い、弟子入りできたことが後のオリンピックにつながったと思います。とても優しいのですが、練習は日本一厳しいのではないかとメニューを組んでくださいました。川村さんの指導のもと順調に力をつけることができ、1年後の二十歳の5月にオリンピック予選がありました。

レスリングをやめた時から私はオリンピックには関心がなく、競輪選手としてお金を稼ぎたいという意識が強かったし、神山雄一郎さんという方がオリンピックに出ることが内定していたので、予選で何の緊張もなく自分の力を出すことができたのだと思います。

正直、オリンピックのために競輪を休みたくはなかったのですが、師匠にも絶対行かなきゃだめだと言っていたので、オリンピックまでの70日間、準備をしました。

日本の競輪場は1周が400mで角度が32度なのですが、オリンピックの競輪場は1周が250mしかなく角度が45度で怖くて走れない状況でした。それを克服するために、70日間の間に日本で一つしかない1周250mの練習場が競輪学校にあったので、そこに合宿に行き練習を繰り返しました。

オリンピックで実際に走る2週間前に現地入りしました。よく現地ではお祭りムードなのかと聞かれるのですが、選手は練習で宿舍と本番の会場を移動するだけの生活なので、お祭りムー

(次ページへ続く)

ドは感じませんでした。開会式は各国の選手が宿舎からバスで会場のゲートまで来て、バスから降りてすぐ入場、というふうになっていました。

本番の日は、会場が満員で各国のカメラマンや応援団が来ていて、初めて緊張し、ビビるという気持ちになりました。

本番はとにかく250mをまっすぐ走ることだけを意識してスタート位置につきました。4周走るので、緊張で最初の半周の記憶があまりありません。半周行った所に師匠がいて大きな声で応援してくれた声が聞こえて我に返って、そこから全力で行きました。

結果的には自己ベストを出すことができ、当時の日本記録を出す事ができ、なんとかメダルを獲得することができました。

オリンピックで走る時に本当は日本の代表なのですが、私は日本の競輪界の競輪選手の代表として恥ずかしくない走りがしたいという気持ちで走りました。

結果的に3位に入れたのですが、当時世界チャンピオンが大きな失敗をして棄権になったので3位に入ることができました。もしチャンピオンがリタイアしなければ4位でした。

3位が確定して3分もしないうちにドーピング検査の係の方が横にピッタリ来て、すぐに仮設トイレに連れて行かれて検査をしました。もちろん引っかからなかったのですが、国内での5月の選考会の時に自分と兄弟子の山田さんという方が男性ホルモンが普通の50何倍という数値が出て、何か薬でももらっているのではないかと聞かれました。判明したのは、私と山田さんはデビューしてから手賀沼フィッシングセンターで週に3回必ずスッポン鍋を食べていました。それとキョーレオピンというニンニクの液体を1年以上飲んでいました。60倍行くと失格です。天然のものは50何倍までしか上がらず、薬を使うと60倍以上になるそうです。協会の方に食べに行かないでくれと言われ、オリンピックが終るまでは行きませんでした。

競輪は戦後間もなく、戦後復興の資金を作るために各地方自治体が競輪場を作り始めました。現在は、競輪の売上の一部を医療関係、スポーツ関係などに寄付させていただくという形で競輪の存在意義を保っています。

競輪は月に2、3場所走ります。1ヶ月半程前にメールでどこどこ競輪場に出場しますか、という連絡が来ます。1場所3日間です。

選手は前の日の午後1時までには競輪場の中に入らなければいけません。競輪場に入りますと、携帯電話を預けて外とは連絡が取れなくなります。1日目は身体や自転車の検査をして、トレーニングをして終わります。レース当日は9時くらいから練習して、早いと11時から、遅いと4時半位からレースです。レースの2時間位前からウォーミングアップします。

競輪選手は基本的には自営業ですが、3日間競輪場で過ごす時には先輩のお茶を入れたり、ご飯をよそったり、家が近ければ車で先輩を迎えに行ったりします。

賞金は、たとえば1着が10万だとしたら、9着は2万位です。

すべてのレースに点数があり、このレースで1着だと何点というふうになっていて、合計点数で自分のランクが決まります。

20年前は競輪選手が4,500人いたのですが、売上が減っているのが現在2,300人に選手を減らしました。

競輪界にも退職金があり、5年前までは1年間続けると100万円の退職金がもらえたのですが、共済会が破綻してしまい、私は20年続けているので2,000万もらえるはずだったのが、今は1,600万しかもらえません。

競輪選手は9割以上の方が高卒で何の資格もありませんので、引退後はダンプやタクシーの運転手、警備員、運が良い方はどこかの会社を紹介してもらって会社に入ったりします。

競輪選手というのは必ず師匠と弟子を持つのですが、私も現在弟子が6人います。競輪の世界では師弟関係にはお金のやり取りは全くありません。自分も川村さんに無償で面倒を見ていただきました。中元お歳暮にビールを持って行くくらいです。

現在40歳でだいぶ体力も落ちてきましたが、小さい子どもが4人いるので、まだまだ頑張りたいと思っています。

オリンピックのメダルを獲ってどうですか、とよく聞かれるのですが、若かった自分は人生変わりましたとか取材で言っていたのですが、本心は重荷でしかありませんでした。メダルを獲ったことで日本で一番有名な競輪選手になってしまったのですが、競輪の職業ではトップにかなわらず、自分のやりたかったことを達成できておらず20代はつらかったです。



十文字選手が獲得した
アトランタ五輪 銅メダル

30代に入って、子どもの友だちから「おじさん、メダル見せて」とちょこちょこ言われるようになって、メダルを獲ってよかったなと思い始めました。

40になって、脚力で若い選手にはかなわない部分がたくさんあり、やっと自分も現実を受け入れられるようになり、今までずっとタンスにしまっていたメダルを自分の家に飾ろうかなと思え、精神的に余裕が持てるようになりました。

今回こういう機会をいただき、人前で話すのはすごく苦手なのですが、挑戦してみたい気持ちがあり出させていただきました。ありがとうございました。

Q:レースで誰が先に行くのかというような決まりはあるのですか?

A:競輪のレースは9名で走るのですが、組み合わせを決める仕事の方がいます。競輪は風を受けると脚力を消耗するので、年を取った選手が若い選手の後ろにつかせてもらいます。組み合わせを決める人は、例えば九州の若い子、関東の若い子、北海道の若い子、と若い子3人を入れます。くじ引きで9人決める訳ではありません。私のような年をとった選手は、ゴール前までは若い選手の後ろにつき何とかついて行って、最後にゴール前で抜けるか抜けないか、という形で走っています。

Q:当りの車券を取るヒントと予想紙について教えていただけますか。

A:最後の100mだけは誰にもわかりません。最後の100mまでは予想紙を信じてもいいです。

Q:ケガはどのようなのですか。

A:私は年間80位走るうちに4、5回転びます。ケガで休む選手には1日6千円の手当が出ます。上のクラスでケガをされた方は1日9千円の手当が出ます。1ヶ月休むと20万円くらいで、みんな何とか生活しています。優勝すると1回で150万円くらい稼ぐ選手もいます。ユニフォームの中にアメリカンフットボールのようなプロテクターを着ているのですが、肋骨と鎖骨はみんなしょっちゅう折っています。

Q:スッポンは本当に効き目がありますか。

A:年に1回食べたくらいだと効かないと思いますが、定期的に食べて行けば絶対に効くと思います。



銅メダルを掛けてもらった
小池会員



銅メダルを掛けてもらった
志賀会員

高島 S.A.A. より

・我孫子RC50周年行事の時にはこの記念のたすきを付けてきてください。

幹事報告

丸田幹事

- ・例会変更のお知らせ
松戸東RC 5月6日(金)休会

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
荒井会員	十文字貴信さん、卓話ありがとうございました。	3,000円
木村会員	十文字選手すばらしい卓話ありがとうございます。	1,000円
小池会員	十文字さん(米田さん)卓話ありがとうございました。	1,000円
佐藤会員	8人の孫の最後が小学校に入学しました。	1,000円
志賀会員	やっと出席できました。	2,000円
服部会員	屋形船の写真いただきました。 結婚40周年お祝いありがとうございました。	5,000円
米田会員	十文字さん、卓話ありがとうございます。	5,000円
当日計		18,000円
今期累計		289,000円

今週の表紙「旧吉田邸 いろり」 柏市花野井974番地1号

江戸時代の花野井村(現・柏市花野井)の名主であり、醤油醸造家としても成功した東葛地域の豪農、吉田家にあった囲炉裏が主屋の板の間に復元されています。主屋は幕末1854年に建てられました。旧吉田家は2004年に柏市に寄贈されるまで実際に住居として使用されており、2010年に国の重要文化財に指定されています。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。